

	いただいたご意見	本市の考え方
1	<p>計画書のP49から第8期計画の評価が記載されていますが、その中に「担当職員が自己評価した内容」とあります。</p> <p>また、P108には、2 計画の評価「計画の推進状況を数値目標等の達成状況などから評価を行い、適宜見直しを行います。また、数値目標を掲げていない具体的施策についても、各事業の進捗状況を確認し、見直し・施策の検討を行います。」とあります。</p> <p>数値目標が立てられない部分は担当職員の自己評価になるのも致し方ない部分もあるかと思いますが、数値目標を立てられる部分は誰が見ても同じ評価になるような明確な基準・目標が必要ではないでしょうか。</p>	<p>施策評価につきましては、計画書に記載のある施策・事業項目ごとに担当各課において、これまでの取り組みと成果を基に評価書を作成し、その結果を記載しております。</p> <p>施策において、目標を数値化できるものにつきましては数値を明確にしておりますが、施策の内容によっては明確な基準・目標を立てることが難しいものもございましたことから「担当職員が自己評価した内容」と記載したところでございますので、ご理解をいただきたく存じます。</p>
2	<p>計画書のP59に基本理念や施策目標が記載されています。そもそも、この計画書策定の意義は白石市の介護保険事業の持続ではないのでしょうか？もし違うのであれば私の認識違いになるので申し訳ありません。</p> <p>ですが、事業の持続のための計画書であるならば、P59もしくは計画書策定の意義という項を設けていただき【要支援・要介護者・被保険者・全世代に資する介護保険事業の継続（今と同じ負担のまま、介護サービスの維持・向上）を図る】というような文言を入れていただけないでしょうか。</p>	<p>本計画は老人福祉法及び介護保険法に基づき、高齢者に係る福祉施策全般と介護保険事業全般を一体的として策定しております。</p> <p>いただいたご意見のとおり、介護保険事業の持続は重要でございますが、本計画はその部分に特化するものではなく、介護保険事業以外の高齢者福祉施策に係る部分も同等として一体的に進めていく内容としております。</p> <p>今後、市全体の人口減少や高齢化が進行していく中で、「住まい」「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムを維持していくためには、お互いに助け合う意識の向上が必要と考えることから、本計画においての基本理念を「お互いの自分らしさを認め合い、支え合いながら、いつまでも暮らし続けられるまち」としたところでございますので、ご理解をいただきたく存じます。</p>
3	<p>上記内容と重複する部分もありますが、本計画書P59の施策目標が5つあります。上2つが介護予防、健康増進に関すること、下の3つがいざ介護が必要になった際のセーフティーネットに関する目標だと思います。</p> <p>予防とセーフティーネットの充実という2つの柱を目標としていることはとても良いことだと思います。ですが、その柱を支える基礎の部分が基本理念のページに明確に示されていないと思います。それはまさに、要介護になる方の割合を現状より減らすこと、要介護期間を短くすることだと思います。</p> <p>介護保険事業を今の負担で、尚且つ今と同様もしくは今以上のサービスを提供するためには、当該事項が最も重要な目標なのではないでしょうか。本計画に明記していただくことは可能でしょうか。</p>	<p>上記にも記載のとおり、本計画は介護保険事業に特化するものではなく、介護保険事業以外の高齢者福祉施策に係る部分も同等として一体的に進めていく内容としております。</p> <p>5つの施策目標におきましては、市内には健康な高齢者の他にもご病気になられている方など、様々な状況の方がいらっしゃいますことから、その方々を漏れのないようにサポートしていく観点から定めております。</p> <p>このことから、本計画を進めるうえで各項目はそれぞれ重要な事項として進めることとしており、この5つの施策目標に則り、高齢者一人ひとりが自身の健康を維持しつつ、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、地域包括ケアシステムの充実、向上を目指すこととしておりますので、ご理解をいただきたく存じます。</p>